

『法律基礎講座』

— 法科大学院既修者入試・司法試験予備試験・公務員試験対応 —



「早稲田の本気！司法試験への確かな道標」

この「法律基礎講座」は、法律主要7科目について、基礎からしっかりと勉強するための講座です。各試験に重要な基礎的概念を確認しながら、学説や基本判例の理解の定着を目的として、皆さんの学修を強力にサポートします。

講師は、いずれも司法試験に合格した優秀な若手弁護士です。その多くは、早稲田大学大学院法務研究科を修了し、アカデミック・アドバイザー(AA)として、現役の法科大学院生に対する学修支援のゼミや個別指導の経験も豊富です。

法科大学院既修者入試、司法試験予備試験、公務員試験等をめざす皆さんに、ぜひお勧めします。

※春学期の講座内容、講師、日程等の詳細は、裏面をご覧ください。

※秋学期には、民法Ⅲ(物権)、民法Ⅳ(債権総論)、民事訴訟法、刑事訴訟法、行政法、会社法の各クラス、およびこの基礎講座からさらにステップアップした「法律アドバンス講座」を開講予定です(詳細は追ってお知らせします)。

受講者の声

※2015 年度本学エクステンションセンター開講の「法曹をめざす基礎講座」アンケートより、一部を紹介します。

- ◆なぜそのような解釈になるのかという理由まで細かく説明してくれたため、分かりやすかった。(民法クラス)
- ◆費用対効果がいい。これだけの内容で、この受講料はありがたい。(民法クラス)
- ◆実務現場の話や司法試験についての話がいろいろ聞けてよかった。(刑法クラス)
- ◆レジュメ、パワーポイントともに詳しく分かりやすかった。必ず具体例がともなって紹介されていたので、理解が抽象的に終わらないのがよかった。(民事訴訟法クラス)
- ◆コンパクトに説明がまとまっていて、初学者の自分にとっては非常に分かりやすかった。(会社法クラス) ほか

申込方法

- ◆早稲田大学法務教育研究センターWeb サイト(<http://www.waseda.jp/folaw/cpler/>)の News「2016 年度 法律基礎講座開講のご案内」ページにある申請フォームよりお申込みください。

《申込期間: 2016 年 3 月 18 日(金) ~ 各講座初回日の 1 週間前(講座と同曜日)の正午まで》

※氏名、住所、メールアドレス、希望の講座等の必要事項を入力・登録してください。

※登録内容を確認後、当センターより確認メールをお送りいたします。

- ◆後日、受講要領、誓約書、個人情報の取扱いに関する同意書等を郵送いたします。受講要領に記載の案内にしたがい、指定の期日までに、必要書類のご提出および受講料のお支払いをお願いいたします。

※詳細は、お送りする受講要領をご確認ください。

※書類のご提出および受講料のお支払いを確認後、講座初回の約 1 週間前に「受講証」等を郵送(またはメール)いたします。

※講座当日は、指定された教室に直接行き、講座を受講してください。

- ◆キャンセルについて

※講座初回の前日(ただし当センター閉室日の場合は直近の開室日)の 17 時まで、電話でのみキャンセルを受付いたします。

※開講後のキャンセルや返金はできません。

【問合せ先】 早稲田大学法務教育研究センター事務所 (早稲田キャンパス 27 号館 1 階)

Tel: 03-3208-9592 / Email: wls-center@list.waseda.jp

【春学期】 教室:早稲田キャンパス 27号館(小野梓記念館) 2階 201教室を予定

民法Ⅰ (総則)	講 師	石野百合子(弁護士)
	日 程	4/14～5/26 全6回 (補講を行う場合、日程未定) 毎週木曜日 18:15～21:25
	受講料	9,850 円 ※
民法(総則)の基本的な知識・考え方を習得して頂くことを目標とします。民法は、法律を学ぶに当たって、最も基本となる法律です。とりわけ総則は、法律の考え方、価値観、条文とその解釈等を学ぶのに最高の場です。本講座では、基本的知識の解説はもちろん、実際の判例や事案を通じて、法律家としてどのように考えて結論を導いていくかを、皆さんに共有していただきたいと思います。		
各回講義予定		
4/14 法律行為総論、意思の不存在 1(心裡留保、虚偽表示) 4/21 意思の不存在(錯誤)、瑕疵ある意思表示(詐欺・脅迫) 4/28 意思表示の効力発生時期、条件及び期限 5/12 法律行為の有効要件、無効及び取消 5/19 代理 5/26 時効		
テキスト・参考図書(予定)		
民法判例百選Ⅰ 総則・物権第7版(有斐閣) ISBN978-4-641-11523-1 2100 円		

民法Ⅱ (債権各論)	講 師	佐古麻衣子(弁護士)
	日 程	6/2～7/7 全6回 (補講を行う場合は7/14) 毎週木曜日 18:15～21:25
	受講料	9,850 円 ※
民法の債権各論の分野は、売買をはじめ、皆さんが日々の生活の中でそれと意識することなく触れている事情を扱うため、民法の中で比較的なじみやすい分野と思われます。もっとも、あくまで、いわゆる常識で考えた妥当性、に目を向けるのではなく、条文に則り、基礎から丁寧に法律論を確認していただきたいと考えています。		
民法の2クール目ということもあり、できるだけ基礎的な事項に絞り講義を行うことが予定されますが、今後の発展的な学習につながるよう、事例演習や判例学習もできるだけ取り入れていこうにしたいと考えております。		
各回講義予定		
6/2 契約法総論、売買、贈与 6/9 賃貸借、消費貸借、使用貸借 6/16 請負、雇用、委任、寄託、組合、和解 6/23 事務管理、不法行為1 6/30 不法行為2 7/7 不当利得		
テキスト・参考図書(予定)		
法学講義 民法5 契約(悠々社) ISBN:4862420095 3,465 円 法学講義 民法6 事務管理・不当利得・不法行為(悠々社) ISBN:4946406980 2,835 円		

※民法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(Ⅲ・Ⅳは秋学期開講予定)は個別にも受講可能ですが、できればこの機会にまとめて受講した方が体系的に学修できます。なお、春学期開講の民法Ⅰ・Ⅱを同時に申し込んだ場合、受講料は合計18,620円です。

刑法	講 師	水上貴央(弁護士)
	日 程	6/6～7/11 全6回 (補講を行う場合、日程未定) 毎週月曜日 18:15～21:25
	受講料	9,850 円
講義は、典型的な教科書事案から、新司法試験の事案をデフォルメしたものまで、多様な事案について、受講生の皆さんと議論をしながら進めます。なお、本講義は、初学者であっても受講可能です。ただし、特に初学者は、講義の後に必ず自分なりに教科書を読んで復習してください。随時復習課題も提出しますので、理解を深める一助としていただければと思います。刑法の楽しさを感じていただければと思っています。		
各回講義予定		
6/6構成要件該当性とは～詐欺・恐喝・横領 6/13実行行為・因果関係 ～殺人・保護責任者遺棄致死～ 6/20故意・錯誤論 ～窃盗、強盗～ 6/27違法性阻却自由 ～監禁罪～ 7/4過失犯 ～業務上過失致傷、致死～ 7/11共同正犯、離脱、教唆 ～殺人・放火・強盗～		
テキスト・参考図書(予定)		
刑法総論の思考方法 第4版(早稲田経営出版) ISBN:4847128486 3,990 円 刑法各論の思考方法 第3版(早稲田経営出版) ISBN:4847132759 3,990 円		

憲法	講 師	白木敦士(弁護士)
	日 程	6/1～7/6 全6回 (補講を行う場合は7/13) 毎週水曜日 18:15～21:25
	受講料	9,850 円
本講義では、憲法学の基本的理解を習得し、実際の試験(予備試験、司法試験)で評価される重要ポイントを押さえて、記憶・理解すべき事項の整理を目的とします。憲法の基礎的な知識を実際の試験でどの様に活用すべきかという点に重点をおき、重要度に応じたランク付けをしながら、メリハリのある進捗を予定しています。		
可能な限りテキストの該当箇所の事前の通読を求めますが、仮に予習が間に合わない場合でも躊躇せず講義にご出席ください。		
各回講義予定		
6/1 憲法と立憲主義(1章)、国民主権の原理(3章)、基本的人権の原理(5章)、基本的人権の限界(6章)、憲法の保障(18章) 6/8 包括的基本権と法の下での平等(7章)、内心の自由(8章)、表現の自由(9章) 6/15 表現の自由(9章・続き)、経済的自由(10章) 6/22 人身の自由(11章)、参政権(12章)、社会権(13章) 6/29 国会(14章)、内閣(15章) 7/6 裁判所(16章)、財政・地方自治(17章)、平和主義の原理(4章)		
テキスト・参考図書(予定)		
憲法 第六版(岩波書店) ISBN:4000227998 3,348 円 憲法判例百選1 第六版(有斐閣) ISBN:4641115176 2,263 円、憲法判例百選2 第六版(有斐閣) ISBN:4641115184 2,263 円		